

陀羅尼とは？

意味・代表的な種類・全文の探し方・唱え方がわかる保存版



このPDFでわかること

陀羅尼の語源と総持の意味／真言・お経との違い／代表的な陀羅尼／全文の正しい探し方／初心者向けの唱え方／功德と現実的な行動

最初に知っておきたい結論

陀羅尼は、サンスクリット語のダーラニー（dharani）に由来し、仏の教えや善を心に保つ「総持」を表す仏教語です。比較的長い聖句を指すことが多いものの、真言との境界は明確ではありません。

陀羅尼は、願いを必ず叶える魔法の呪文ではありません。信頼できる経本に従い、祈りを慈悲や善い行動へつなげることが大切です。

目次

- 1 陀羅尼と総持の意味
- 2 陀羅尼・真言・お経・種字・呪文の違い
- 3 インドから日本へ伝わった歴史
- 4 代表的な陀羅尼6種類
- 5 陀羅尼全文を正しく探す方法
- 6 陀羅尼が音で唱えられる理由
- 7 初心者向けの唱え方5ステップ
- 8 功德と現実的な行動
- 9 読誦前の確認チェックリスト

1 陀羅尼と「総持」の意味



陀羅尼は「だらに」と読み、サンスクリット語のダーラニー（dharani）を漢字で音写した言葉です。「保持する・支える」に由来し、漢訳では「総持」「能持」などと表されます。

総持とは、仏の教えを心に保ち、善い行いを失わず、迷いや悪へ流されるのを防ぐこと。唱えた後の日常で慈悲と智慧を生かすところまでが大切です。

2 陀羅尼・真言・お経の違い



一般には、比較的長い聖句を陀羅尼、短い聖句を真言と説明します。ただし、同じ句が資料によって真言・陀羅尼・呪と呼ばれることもあり、長さだけでは厳密に区別できません。

お経は仏の教説や物語、実践を伝える經典で、その一部に陀羅尼が収められることがあります。種字は一字の梵字で仏尊を象徴するものです。

3 陀羅尼が日本へ伝わるまで



陀羅尼はインドの大乗仏教で発展し、經典の漢訳とともに中国へ、さらに朝鮮半島を経て日本へ伝わりました。日本では密教だけでなく、禅宗などの法要でも読誦されています。

中国では原語の音を保つため、意味訳ではなく漢字による音写が多く用いられました。日本の伝統的な読みが現代の復元サンスクリット音と異なるのは、この長い伝承があるためです。

4 代表的な陀羅尼6種類

代表的な陀羅尼 6種類

1 大悲心陀羅尼  - 千手観音 - 慈悲・守護	2 消災妙吉祥陀羅尼  - 禪宗などで読誦 - 除災・吉祥	3 仏頂尊勝陀羅尼  - 仏頂尊勝陀羅尼經 - 罪障消滅・追善
4 宝篋印陀羅尼  - 宝篋印陀羅尼經 - 供養・追善	5 法華經の陀羅尼  - 法華經陀羅尼品 - 受持者の守護	6 准胝陀羅尼  - 准胝観音 - 除障・智慧

功德は仏教上の伝統や信仰に基づくもので、結果を保証するものではありません

陀羅尼は一種類ではありません。大悲心陀羅尼、消災妙吉祥陀羅尼、仏頂尊勝陀羅尼、宝篋印陀羅尼、法華經の陀羅尼、准胝陀羅尼など、それぞれ典拠と祈りの背景が異なります。

名称の似た経文や異なる読み方があるため、唱える際は正式名称・典拠となる經典・宗派を確認してください。

功德は仏教上の伝統や信仰に基づくもので、結果を保証するものではありません。

5 陀羅尼の全文を正しく探す



「陀羅尼全文」という一つの共通経文は存在しません。まず大悲心陀羅尼、消災妙吉祥陀羅尼など、自分が読みたい陀羅尼の正式名称を確認します。

全文は宗派本山・寺院が公開する経本や信頼できる刊本で確認しましょう。SNS画像や出典不明の転記には、誤字・脱字や異なる宗派の読みが混在する場合があります。

6 なぜ陀羅尼は音で唱える？



陀羅尼に並ぶ漢字の多くは、漢字本来の意味ではなく原語の音を近似的に示します。漢字の意味だけをつなげて独自に翻訳すると、原意から離れることがあります。

学術的な復元梵語と日本の寺院で伝承される読みは、目的が異なります。寺院の法要では配布された経本と僧侶の案内に合わせるのが安心です。

7 初心者向け・唱え方5ステップ



公開されている陀羅尼を個人で唱えるなら、最初は一遍からで十分です。速さや美声、回数を競わず、経本の文字を追いつつ丁寧に唱えます。

一音読み間違えただけで罰が当たると恐れる必要はありません。気づいたら信頼できる経本や同じ宗派の読誦音源で確かめましょう。専門的な密教修法は、正規の寺院や師僧の指導を受けてください。

8 陀羅尼の功德と現実的な行動

陀羅尼の功德と現実的な行動	
伝統的に願われる功德	同時に行いたいこと
 病氣平癒	 医療機関へ相談する
 災難除け	 防災・安全対策をする
 罪障消滅	 謝罪・償い・行動改善
 良縁成就	 相手の意思を尊重する
 金運・安穩	 家計や契約を確認する
 追善供養	 故人を思い善行を重ねる
陀羅尼は医療・防災・法律・金銭問題への対応に代わるものではありません	

病氣平癒、災難除け、罪障消滅、良縁成就、追善供養などは、仏教上の伝統と信仰の中で語られる功德です。現代科学で保証された結果と同じ意味ではありません。

祈りながら、受診、防災、謝罪や償い、契約確認などの現実的な行動を行って構いません。助けを求めることは信心不足ではありません。

体調の急変、災害、暴力、詐欺などがある場合は、読誦だけで解決しようとせず、医療機関や公的な相談窓口へつながってください。

9 陀羅尼を唱える前の確認チェックリスト

☐	唱える陀羅尼の正式名称を確認した
☐	典拠となる経典や宗派を確認した
☐	寺院や信頼できる刊本の経文を選んだ
☐	静かで安全な場所と無理のない姿勢を選んだ
☐	回数より一遍の丁寧さを大切にする
☐	読み間違いを過度に恐れない
☐	専門的な手印・観想・修法は独学しない
☐	祈りを慈悲や善い行動へつなげる
☐	医療・防災・法律・金銭の対応も行う
☐	高額な開運商法や恐怖をあおる勧誘に注意する

陀羅尼は、不安を増やすための言葉ではありません。教えを心に保ち、自分と周囲を大切にする行動へ戻るための支えとして向き合いましょう。

※本資料は仏教用語と伝統的な捉え方を理解するための一般的な解説です。宗派・寺院によって本文、読み方、作法は異なります。